



おひさまだより

5月号

令和7年5月15日

社会福祉法人国立保育会

練馬区立南大泉保育園

副園長 福田由紀子

子どもの成長は、本当にあっという間ですね。5月の連休が過ぎましたが、入園したころに戻ることは無く、子どもたちは新しい環境を受け入れてくれています。たぶんそれぞれ様々な心の葛藤はあったと思いますが、いまはもう「ずっとここにいたよ」というようなオーラを出しながら日々を過ごしています。

一日一日の何気ない行動や周りの影響が子どもたちにとってはいつのまにか素敵な刺激となり、さらに成長していくのだな、と思うと私たちも嬉しい気持ちで、子どもたちと向き合っています。

暑い日があったり、肌寒い日もあったりで体調も崩しがちですが、子どもたちの様子を見ながら、楽しい遊びをしかけていきたいな、と思っています。



給食の配膳

年長組は、5月から自分でトレイを持って、自分の席に運ぶようになりました。

主食・汁もの・主菜、副菜をしっかり並べてバランスよくトレイを持ちます。



やりたいと思う遊びはとことん取り組んでいます。

小さい子たちの動きは大体が大きい子たちのまねっこ



園庭での遊び



「先生もやってみて」と遊びに誘われると誰よりも楽しむ担任もいます。



庭の桜の木の下で、シートを敷いて、ひよこの子たちが過ごします。

ここからなら、大きいお兄さんやお姉さんの姿がよく見えます。

暑いなーと思う日は
水の周りが混雑します。



庭用の大きなブロック。
自分のイメージのお家
とか組み立てることが
出来ます。ゆっくり集中
して遊べます。



2階のテラスの
前でキーボード
に合わせて歌う
ことも興味津々

自分の靴と靴下を探して、一人で
履いてみる。出来るけれど、時々
はやってもらいたくもなる。

その日の気分は大きいけれど、
やりきった時はすごい達成感。
気分よく散歩に出掛けられます。



近くの公園に行ったら楽しくて気持ちは
「キュンです！」



何のおしゃべりをしているのか。
穏やかなやり取りが続きます。



毎日各クラスで、園庭で、公園で子どもたち同士や担任の先生
たちとのやり取りがあって、大人も子どもにも教えられることが
沢山あります。お互い様のことも多くあるでしょう。これから
もいろいろな物語を楽しんでいきたいと思ひます。